

令和5年第1回定例会

市長施政方針に対する代表質問通告一覧表

会派名(氏名)	番号	質問事項	質問の具体的な内容
1. 公明党 (中間 建二)	1	3期12年にわたる尾崎市政の実績と次期市長に引き継ぐべき政策課題について	<p>① 3期12年にわたる市政運営の中で、基本的な政治姿勢として「持続可能な行財政運営」や「情報公開の推進と説明責任の徹底」等を一貫して掲げてこられたが、これらの方針に基づく施策の成果や実績の認識を伺う。</p> <p>② 重要施策に掲げてこられた「日本一子育てしやすいまち」「シニアが活躍できるまち」について、どのような実績を上げられたと認識しているのか、具体的な数値で成果を伺う。</p> <p>③ 今任期では、3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症対策に注力をせざるを得ない状況であったが、この間の対応の実績や反省点等を後世に引き継いでいくための記録の作成や公表を行うべきと考えるが、認識を伺う。</p> <p>④ 次期市長に引き継ぐべき政策や課題について、どのように考えているのか。</p>
	2	施政方針に示された重要施策について	<p>① 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>ア ワクチン接種について、接種率等はどこまで推進することができたのか。引き続き、ワクチン接種を希望する全ての方が接種できる万全の体制を構築する必要があると考えるが、認識を伺う。</p> <p>イ 小中学校や幼稚園、保育園等の卒業式や入学式等の式典におけるマスクの着用や人数制限等については、どのような方針なのか。また、令和5年3月13日以降は、マスクの着用は子ども達や家庭の判断に委ねることになるのか、認識を伺う。</p> <p>② 子ども・子育て支援施策の推進について</p> <p>ア 令和5年度の保育園待機児童ゼロの達成の見通しはどうか。</p> <p>イ 南街地域への保育施設等の整備によって、保育定員はどこまで拡大できるのか。</p> <p>ウ 保育園や幼稚園等における虐待事件や送迎バスへの置き去りが社会問題となっているが、どのような対応を図っていかれるのか。</p> <p>エ 保育園や幼稚園等に通っていないご家庭への子育て支援の充実には、どのように取り組んでいかれるのか。</p> <p>オ (仮称)子ども発達支援センターつむぎ東大和及び(仮称)東大和どろんこ保育園は、子育て家庭を支える中心拠点として、どのような役割や効果が期待できるのか。</p> <p>カ 新たに実施される高校生等医療費助成事業の周知方法及び所得制限の対象となる人数の見込みは</p> <p>キ 学校内学童保育所の導入によって、保育定員拡大の見通しはどうか。放課後子</p>

<p>(公明党)</p>		<p>ども教室との連携はどのように進めていかれるのか。</p> <p>ク 中学校におけるオンライン英会話授業やモデル校でのA I教材ソフトの導入の詳細について伺いたい。</p> <p>ケ 不登校児童の増加傾向が懸念されているが、具体的な相談支援体制の構築や居場所づくり等、どのような対策を講じていかれるのか。</p> <p>③ 健康・高齢者施策の推進について</p> <p>ア 带状疱疹ワクチン接種費用助成事業の助成金額や開始時期等の詳細はどのような見込みとなっているのか。</p> <p>イ 「快腸プロジェクト」から得られた知見はどのようなものか、「快食プロジェクト」はどのような内容で推進していかれるのか。</p> <p>ウ 妊婦・子育て家庭への支援については、国や東京都の施策との連携をどのように図り、展開していかれるのか。また、市民のニーズに応じた独自施策の展開は検討されているのか。</p> <p>エ 地域包括ケアシステム構築における在宅医療・介護の連携や認知症の早期発見・支援体制の構築には、どのように取り組んでいかれるのか。</p> <p>オ 市民の健康づくりを推進するための幅広い世代を対象とした健康ポイント制度の構築やアプリの導入の検討は、どこまで進んでいるのか。</p> <p>カ 「生涯学習・生涯スポーツ推進計画」に基づく事業の実施の詳細な内容は</p> <p>④ 都市の価値を高める施策の推進について</p> <p>ア 「地域防災計画」の改定においては、「家庭や地域における防災・減災対策の推進」や「全ての被災者への安全で質の高い生活環境の提供や早期の日常生活の確保」等の重要性が指摘されているが、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>イ 「都市マスタープラン」の改定においては、総合計画「輝きプラン」との整合性を図り、東大和市駅周辺等の拠点整備や「日本一子育てしやすいまち」「シニアが活躍できるまち」の姿について、どのようなビジョンを描いていかれるのか。</p> <p>ウ ニツ池のかいぼりでは、地域住民や子ども達との協働を進め、SDGs教育にもつながる事業展開を期待しているがどのように考えておられるのか。</p> <p>エ 狭山緑地への都内最長・全国有数のローラーライダーの整備について、整備の内容や完成までの詳細なスケジュールを伺う。</p> <p>オ 公共施設の空調設備の省エネルギー化や照明設備のLED化を進めるにあたり、対象となる施設の計画及びCO₂排出削減等の効果について、どのような試算を行っているのか。</p> <p>カ 食品ロス削減をはじめとする廃棄物の減量施策や資源物の戸別収集等のさらなる市民サービス向上をどのように進めていかれるのか。</p> <p>キ 「第2次産業振興基本計画」の策定においては、都市農業の振興や商工業の活性化等の具体策をどのように描いていくのか。</p>
--------------	--	--

<p>(公明党)</p>	<p>3</p>	<p>令和5年度の予算編成について</p>	<p>ク 「Pay Pay といえば東大和」と言われるほど、Pay Pay ポイント還元事業が地域経済の活性化に大きな効果を発揮しているが、継続実施に向けた検討状況は</p> <p>⑤ 持続可能な行財政運営等の推進について</p> <p>ア 市民環境部における窓口業務の民間委託は、行政運営の効率化や市民サービスの向上に大きな実績を上げているが、全庁的な取組にどのように繋げていかれるのか。</p> <p>イ 行政のデジタル化の推進においては、「書かない窓口」や「行かない窓口」等の実現に向けて、どのように取り組んでいかれるのか。</p> <p>ウ 企業版ふるさと納税における民間人材の採用では、市政運営にどのように活かしていくのか。</p> <p>エ 「公共施設等総合管理計画」に基づく取組については、人口減少を見据えた総量の縮減と地域バランスの配慮の両立が課題となるが、どのように推進していかれるのか。</p> <p>オ 事務事業の廃止・縮減等の推進においては、関係する市民への丁寧な情報提供や理解促進が必要となるが、どのように取り組んでいかれるのか。</p> <p>① 尾崎市政の最後の予算編成となるが、3期12年の集大成としてどのような思いで取り組まれたのか。また、今を生きる東大和市民と未来を生きる市民の皆様への熱い思いを伺う。</p>
<p>2. 自由民主党 (根岸 聡彦)</p>	<p>1</p>	<p>重要施策について</p>	<p>① 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>ア 令和5年度の市長施政方針において、重要施策の第1に「新型コロナウイルス感染症対策」を上げております。現在感染者は減少傾向にあり、社会活動に課せられていた規制も緩和されていく方向にありますが、市が感染症対策を第1に上げたことに対する市の思いとはどのようなところにあるのでしょうか。</p> <p>イ 新型コロナウイルス感染症対策については、国や東京都からの指示により対策を講じることがほとんどであると思いますが、医療機関との連携や、感染症等により影響を受けた方々のための支援として、市独自で考えている対応としてどのようなものがあるのでしょうか。</p> <p>② 子ども・子育て支援施策の推進について</p> <p>ア 日本一子育てしやすいまちの実現に向けて、市は保育施設の整備に積極的に取り組んでまいりました。不足する保育士の確保については、さらなる支援策を検討していることと拝察いたしますが、人材確保の観点から、どのような手だてを講じようとしているのでしょうか。</p> <p>イ 子ども達の健全育成について、いじめの撲滅に関する取組や、子どもに限られたことではありませんが、ひきこもりの支援について、どのような対策を講じていこうとお考えでしょうか。</p> <p>ウ 学力向上について、26市で初となる全中学生を対象とした、マンツーマン英会話レッスンを導入するとのことですが、このことにより、</p>

<p>(自由民主党)</p>		<p>どの程度の学力向上が見込まれるとお考えでしょうか。</p> <p>エ 七小と九小の統合については、地域と共にある学校を目指すとしていますが、地域住民の意見や要望は、どのように取り上げ、反映させていこうとしているのでしょうか。</p> <p>③ 健康・高齢者施策の推進について</p> <p>ア 高齢者施策に関し、市はこれまで介護予防リーダーの育成をはじめとした様々な施策に取り組んでこられました。しかしながら、介護予防リーダーの高齢化が問題となっており、高齢者のための活動をする人たちの世代交代が急務となっております。この課題に対して、市はどのような対策を講じていこうとしているのでしょうか。</p> <p>イ 市は健康寿命の推進をうたっておりますが、健康で活動的な高齢者、介護予防が必要な高齢者、介護を必要とする高齢者それぞれの対策が必要になると考えますが、それぞれの人生におけるQOLを考えたときに、生涯学習の観点からも含めて、どのような施策を講じていこうとしているのでしょうか。</p> <p>④ 都市の価値を高める施策の推進について</p> <p>ア 防災計画に関しては、避難所における新型コロナウイルスのような感染症対策、女性や高齢者に対する犯罪対策のほか、プライバシーへの配慮や、その他女性の視点に立った避難所運営が重要になってくると考えますが、地域防災計画の中には、そういった内容が十分盛り込まれるものと理解してよろしいのでしょうか。また、市独自の防災に対する考え方等があればお示しください。</p> <p>イ 主要駅周辺の拠点性を高め、活力を向上させるための取組を推進すると理解いたしますが、拠点性を高めるために、どのような施策を展開しようとしているのでしょうか。活力を向上させるとは、具体的にどのような状況になることをイメージしているのでしょうか。</p> <p>ウ 自然環境については、狭山丘陵に生息する生き物の多様性の確保に努めるとのことですが、動植物や昆虫類における外来種の繁殖が問題となっていると考えますが、外来動植物等の駆除に関して、どのような取組をお考えでしょうか。</p> <p>エ 産業振興に関して、自治体間競争で劣勢を強いられているという声が聞かれますが、企業誘致による生産年齢人口の増加に対してどのようなビジョンをお持ちなのか聞かせていただきたいと思います。</p> <p>オ 観光推進について、「出張！なんでも鑑定団 in 東大和」を誘致するとのことで、非常に良い取組であると思いますが、1回で終わってしまっは意味がないと考えます。この誘致を皮切りに、市の知名度を上げるため、具体的にどのようなことに取り組んでいこうとしているのでしょうか。</p> <p>カ 「都市の価値を高める」とは、市外から人々が訪れ、そこににぎわいが創出されることだと</p>
----------------	--	--

(自由民主党)			<p>理解いたしますが、このにぎわい創出のために、どのようなまちづくりを行っていかようとしているのでしょうか。</p> <p>⑤ 持続可能な行財政運営等の推進について</p> <p>ア 人口減少の抑制と高齢化の進展に歯止めをかけることは、ほぼ全ての自治体に共通の課題ではないかと考えますが、今後の市の取組に対する考えをお聞かせください。</p> <p>イ 市税収入の減少に関して、限られた財源や人的資源の有効活用は昔から取り組まれていることであり、限界に近づいているのではないかと危惧しているところではありますが、今まで取り組まれてきたこと以外に、新たに実践しようとしている施策はあるのでしょうか。具体的にご教示いただければと思います。</p> <p>ウ 公共施設のマネジメント、老朽化対策については、建築系の公共施設の総量の縮減や配置の見直し等がうたわれております。これらは非常に重要な取組であることは理解しますが、財源の確保が大きな課題であると認識いたします。長期的な展望に立って、様々な建築系の施設の更新に係る経費を市は各年度でどのように見込んでいるのでしょうか。</p>
3. やまとみどり (床鍋 義博)	1	令和5年度における重要施策について	<p>① 新型コロナウイルス感染症については、対応していただいている医療や救急に携わっている方をはじめ、関係する職員の皆さんに感謝するとともに、今後も行政として支援を行って欲しいと思いますが、日本で初めてこの感染が確認されてから3年が経ち、その対応や私たちの生活についても見直しをする時期にきていると考えます。このことを踏まえて市は、どのような対応をしていく予定であるのかを伺います。</p> <p>② 学力向上について、新たな取組として、1人1台端末を活用し多摩26市で初となる、全中学生を対象とした海外の外国人講師とのオンライン学習については、期待をしておりますし、この試みを評価いたします。デジタル端末については、積極的な活用をお願いするとともにプログラミングに関する教育や、また、それらを活用するための市の施設及び市内のネットワークの整備が不可欠であると考えますが、市の今後の予定を伺います。</p> <p>③ 高齢者施策について、生涯学習の推進については「生涯学習・生涯スポーツ推進計画」に基づき、各種事業を計画的に実施するということでしたが、生涯学習活動の要である公民館の有料化について、仮に有料化ということになれば、生涯学習活動を推進するという方針と真逆の対応となってしまう危惧がありますが、市の今後の方針を伺います。</p> <p>④ 都市づくりについては、当市には自然豊かな多摩湖をはじめ、その周辺に広がる狭山丘陵は、当市の貴重な資源であります。その活用については、当市だけではなく、周辺自治体との連携が不可欠であると考えますが、これまでの取組を踏まえ、今後の市の方針を伺います。</p>

<p>(やまとみどり)</p>	<p>2</p>	<p>市長の3期12年の市政運営について</p>	<p>⑤ 公共施設等マネジメントについてであります、高度経済成長期に造られた様々な建物や道路・橋梁・下水道などが一気に更新の必要に迫られております。財政が豊かであれば、それほど危惧することはないと思いますが、限られた財源の中で効率よく計画を進めるために重要なのは職員の知恵であります。</p> <p>現在当市では、非正規職員が増えており、このままでは正規職員の育成機能が働かないという危惧を持っております。有能な人材の確保と育成は、持続可能な自治体の存続に必要な不可欠であると考えますが、市長の見解を伺います。</p> <p>① これまでの3期12年の市政運営において、やり残したことがあればそれは何か、また、次の市長、議会に期待することは何か伺います。</p>
<p>4. 日本共産党 (尾崎 利一)</p>	<p>1</p>	<p>新型コロナウイルス感染症、物価高騰などから市民の命と暮らしを守る取組について</p>	<p>① 新型コロナウイルス感染症から命と健康を守る施策について、市の役割は主にワクチン接種だという答弁が繰り返されています。全数把握が行われず、市内の感染実態はわからなくなりました。しかし、救急車を呼んでも入院できない、高齢者施設の感染者も隔離されずクラスター化するなど、全国の令和5年1月の死亡者は1万人を超え、過去最高です。無策どころか、コロナ危機下にも病院のベッドを減らし続けている岸田自公政権の責任は重大ですが、市民の命を守るため、できるだけことはすべきです。日本共産党は、発熱外来を増やすための支援金創設や自宅療養者支援センター開設を求めてきました。また、保健所の増設も必要です。市長の見解を伺います。</p> <p>② 政府は令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを5類にする方針を決め、都は無料検査、宿泊療養施設、配食サービス等の廃止を決めました。しかし、他方で第9波の可能性も指摘されており、状況に応じて国民の命を守るための適切な対応が必要と考えます。市長の見解を伺います。</p> <p>③ 広範に及ぶ物価の高騰から暮らしを守るために有効な消費税の緊急減税に政府は背を向け続けています。賃金や年金、生活保護基準などの大幅な引上げが求められます。市長の見解を伺います。また、市としても可能な限りの対策を求めますが、いかがですか。</p>
	<p>2</p>	<p>行財政運営について</p>	<p>① 市長は、「今後、人口減少と少子高齢化の進展による市税等の減少や社会保障関係経費の増加等により、財政状況が一層、厳しくなる」と言います。人口減少は自然現象でなく、自民党の失政の結果です。GDP比で、日本の子育て、教育、社会保障関係支出がOECD平均に比べても大変少ないことが少子化・人口減少をもたらしている大きな要因です。社会保障関係経費の増加が問題なのではありません。少なすぎるのが問題なのです。社会保障関係経費はもっともっと拡大し、お金の不安なく子育てや教育ができ、必要な医療が受け</p>

<p>(日本共産党)</p>	<p>3 市民サービスの切り捨てについて</p>	<p>られ、老後の不安もない社会をつくることこそ、政治の責任ではありませんか。財源は、富を著しく増やしているにもかかわらず税を優遇されている、富裕層と大企業に求めるべきです。高齢者が増えて現役世代が支え切れないなどと言って、ともに収入を減らし続けている高齢者と現役世代の対立をあおるべきではありません。市長の見解を伺います。</p> <p>② 消費生活相談員の採用資格を緩和する条例が可決されました。消費生活相談員は、相談者のプライバシーにも深く関わって親身に寄り添う大切な仕事です。周辺市に比べても賃金が低いこと、そもそも非正規職員に依拠していることが、求人難の最大の原因です。市の非正規職員の89%が女性で、最低賃金ギリギリで働く官製ワーキングプアを市が大量に生み出しています。市民の暮らしに深く関わり、専門性、継続性、系統性が求められる業務まで非正規雇用で依拠することは問題です。女性の賃金差別に直結する問題でもあります。非正規職員の正規化、処遇改善を求めますが、いかがですか。</p> <p>③ NTT、東京ガス、東京電力の大企業3社だけに道路占用料を約2,500万円引き下げたのは間違いだと考えます。元に戻すとともに、更なる増収を図るべきですが、いかがですか。</p> <p>① 市長は、持続可能な市政運営について、「将来市民の選択肢を制限したり、奪うことなく、現在市民の要望を最大限に満たすことが可能になるようにしていくこと」と答弁しました。他方、市長は、国の水準や他都市の水準を上回っているものは聖域なく見直したい、との京都市長の発言を紹介し、「上回っているものはすべてなくすということだ」と解説し、東大和市においても「結構シビアにやっていきたい」と答弁しました。結局、これは、市民の要望を満たす「最大限」をドンドン切り下げていくという、福祉切捨て宣言ではありませんか。実際、コロナ危機下に111の市民サービス等事務事業の廃止・縮小を強行あるいは決定しました。市長の説明を求めます。</p> <p>② 市は、公共施設の2割削減を打ち出し、真っ先に小・中学校の2割削減を進めようとしています。さらに、市民センターや学童保育等の統廃合も検討の俎上につけています。将来を見通すことなく少子化対策を投げ出してしまった政治の誤りを繰り返してはなりません。九小と三小の廃校、一中と五中の統廃合に反対します。日本の教育環境は、教員1人当たりの児童・生徒数でも、学級規模でも、EUやOECD諸国から大きく立ち遅れています。東大和市はさらに遅れています。少子化だからと教員や学校を減らすのではなく、子どもの最善の利益を図る立場で、1学級20人程度の少人数学級を展望した教育環境の整備こそ求められているのではないですか。伺います。</p>
----------------	--------------------------	--

<p>(日本共産党)</p>	<p>4</p>	<p>国民健康保険税の6年連続値上げや公民館、老人福祉館、学校体育館・校庭等の有料化など市民負担増路線について</p>	<p>③ 市内唯一の公立保育園である狭山保育園の段階的廃止は市の保育に対する責任を後退させるものです。撤回を求めますが、いかがですか。</p> <p>① 国民健康保険の構造的問題を解決するとして国保税の6年連続値上げが強行され、令和5年度の1億円値上げで最終年度となります。構造的問題の一つとされた保険税負担が重いという問題について、加入者一人当たり保険税を加入者一人当たり所得で除した負担率は、東大和市の場合、連続値上げ前の2017年度と2023年度でそれぞれどうなっているのか、伺います。構造的問題をさらに深刻化する値上げは撤回し、引下げに転じるべきですが、いかがですか。</p> <p>② 草の根民主主義の力をそぐ、公民館、学校体育館・校庭などの有料化方針は撤回すべきです。いかがですか。</p> <p>③ 家庭ごみ有料化に反対です。都内で一番高い家庭ごみ有料袋は2割以上、大幅に値下げすべきですが、いかがですか。</p>
	<p>5</p>	<p>重要施策等について</p>	<p>① 敵基地攻撃能力の保有、防衛費の2倍化は、憲法9条を踏みにじり、戦争を手繰り寄せる愚かな暴走です。「戦争と核兵器のない世界の建設にむけて努力すること」を誓った平和宣言都市として、平和と市民の命を守るために、政府に対して安保3文書の閣議決定撤回を求めるべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>② 気候危機打開のための地球温暖化対策実行計画・区域施策編の策定を市は表明しましたが、大変遅れています。市民の声を反映させた計画策定を急ぐとともに、太陽光発電設置補助などできることから着手していくことが必要です。いかがですか。</p> <p>③ 市のあらゆる施策にジェンダー平等の視点を貫く「ジェンダー主流化」を進めるべきですが、いかがですか。</p> <p>④ 子ども医療費助成制度の18歳までの拡大が令和5年4月から始まります。日本共産党市議団が繰り返し求めてきたものです。しかし、23区は完全無償に対して、当市では所得制限も一部負担も残されます。完全無償化すべきです。いかがですか。</p> <p>⑤ 学校給食無償化が、全国でも、都内でも広がっています。義務教育無償の原則に基づき、東大和市でも無償化するよう求めます。市の積立基金は4年間で27億円増えました。市単独でも10年間無償にできる財源が4年間でできたこととなります。第2子半額・第3子以降無償なら4,400万円というのが市の答弁です。いかがですか。</p> <p>⑥ 加齢性難聴が65歳以上人口の半数を占めること、認知症やひきこもり、老人性うつなどの大きな要因となっていること、早期の補聴器装着が症状改善に有効であることは、市も認めているところです。都内で広がっている補聴器購入補助制度を創設するよう求めます。いかがですか。</p>

(日本共産党)			<p>⑦ 国から特養ホーム等の整備に活用する場合39%の賃料で国有地を提供する用意があると示されてから丸7年間、待機者が多数いるにもかかわらず、市は特養ホーム整備計画を先送りし続けています。速やかに整備し、待機者を解消すべきです。いかがですか。</p> <p>⑧ ちょこバスへシルバーパスでの無料乗車を導入し、運賃を100円に戻すとともに、東京街道団地など高齢者が多い地域や交通不便地域などへの迅速な対策が必要と考えますが、いかがですか。</p>
5. 興市会 (大后 治雄)	1	重要施策について	<p>① 新型コロナウイルス感染症対策について ア 年代別接種状況を伺う。 イ 今まで実施した対策の課題を伺うとともに、感染拡大前と変わった、あるいは推進された業務を伺う。</p> <p>② 子ども・子育て支援施策の推進について ア 東大和市子ども・子育て未来プランの取組に関し、これまでの成果及び今後の取組を伺う。 イ 学童保育の充実に関し、具体的な取組を伺うとともに、これまでの取組の効果を伺う。 ウ オンラインのマンツーマン英会話レッスンやAI教材ソフトの導入によるきめ細やかな学習の詳細を伺う。</p> <p>③ 健康・高齢者施策の推進について ア 「快腸プロジェクト」から得られた知見を活かして取り組まれる「快食プロジェクト」の詳細を伺う。 イ (仮称)東京街道運動広場の工事の進捗と今後の日程を伺う。</p> <p>④ 都市の価値を高める施策の推進について ア 消防団員の団員報酬に関し、26市中の順位を伺うとともに、各分団の団員数及び欠員状況を伺う。 イ ニツ池のかいぼりを行い、生物多様性の確保に努めるとのことだが、具体的な取組の詳細を伺う。 ウ 市の認知度向上にテレビ番組を誘致することで、どれだけの効果を見込んでいるのか伺うとともに、テレビよりもSNSを活用したPRの方が効果的であると考えているが、市の見解を伺う。</p> <p>⑤ 持続可能な行財政運営等の推進について ア 行政のデジタル化に関し、デジタル技術の導入によってどのような効果が得られたのか伺うとともに、今後の課題を伺う。 イ 「職員の市民協働の推進に関する指針」改定に関し、多様化・複雑化する地域課題の解決に向けた具体的な取組を伺う。</p>
6. 無所属 (実川 圭子)	1	子ども・子育て支援施策の推進について	<p>① (仮称)子ども発達支援センターつむぎ東大和及び(仮称)東大和どろんこ保育園新設について、ある新聞紙上で「障害児とともに学ぶ園、障害の有無にかかわらず、子どもを受け入れる「インクルーシブ教育」を推進する。」と報道されていた。市が目指す未就学児のインクルーシブ教育はどのようなものか伺うとともに、2つの施設の子ども達が日頃から一緒に過ごす場となるのかもあわせ</p>

(無所属)			<p>て伺う。また、子ども発達支援センターの利用対象範囲についても伺う。</p> <p>② 学校教育においても、心理相談員等の配置による教育相談体制の確保や子ども支援員の拡充により、通常学級における特別支援教育推進のための環境整備等を図っていく、とあるが学校におけるインクルーシブ教育は、障害の種類によって分けられることがないよう進めていくのか。</p>
	2	都市の価値を高める施策の推進について	<p>① 都市づくり、都市マスタープランの改定について ア 改定に当たっては、住民のアイデアが十分に反映されるような機会をつくることで、まちづくりに関心を持つ市民を増やすことができると考えるが、認識を伺う。 イ 主要駅周辺の拠点性を高め活力を向上させるための取組とは、具体的にどのようなことを想定しているのか。</p> <p>② 生活環境、地球環境について、国内では830を超える市区町村、都内でも40を超える市区町村が行っている、ゼロカーボンシティの表明をし、より一層、取組を推進すべきと考えるが、検討状況を伺う。</p> <p>③ 観光、ブランド・プロモーションについて、子育てしやすいまちをPRするために、子育て世代向けのフリーペーパー雑誌に、市の広告を掲出するとあるが、真に子育てしやすいまちになれば外からの評価も高まり子育て世代に届く。広告よりも事業の充実が優先されるべきと考えるがいかがか。</p>
	3	障害福祉の推進について	<p>① 手話言語条例について、市長は手話に理解を寄せ、手話言語条例策定に前向きであり、在任中に策定、あるいは策定に向けての道筋をつけていただきたかったが、今後の手話言語条例策定について見解をお聞かせください。</p>